

# 地域を学んで未来を創る

—地域からグローバルへ—

静岡県立大学は、COC(Center of Community 地(知)の拠点)事業に取り組んでいます。

目指す人材像：コミュニティーワーク力を備えた人材

コミュニティーワーク力とは、地域の課題を解決するために、地域とともに、世代・分野・職種を超えて「チーム活動」を牽引する能力です。

## Step 1 「しずおか学」を学ぶ

「しずおか学」科目群は、静岡の文化や歴史、産業などの地域に関連した全学共通科目(選択必修)です。

しずおか学科目群 一覧				
静岡の健康長寿を支える取り組みと人々	前期	ムセイオン静岡 —MUSEUMと文化A/B★	静岡の市民活動	前期
静岡の防災と医療	前期	ムセイオン静岡 —世界の文化遺産A/B★	地域づくりの理論	前期
静岡地域食材学 A/B	後期	ムセイオン静岡 —舞台芸術A/B★	地域づくりの方法	前期集中
バイオ —静岡から世界へA/B	後期	地域産業の国際比較 —静岡と世界A/B	地域づくり インターンシップ	前期集中
茶学入門	後期	静岡市連携・ 留学生等基礎教育講義	ふじのくに学(富士山)	後期集中
ふじのくに学(お茶)	後期集中	A/Bはそれぞれ1単位で別に履修できます。		

※ 科目の詳細は、学生サービス支援システム Universal Passport でご覧ください。一部の科目では、履修の条件が設定されていますので、あわせてご確認ください。

## 授業の様子



教員、外部講師による座学



ワークショップ



グループワークの成果発表



工場見学

### ★「ムセイオン静岡」とは

本学草薙キャンパス周辺にある7つの教育文化機関(静岡県立大学、県立中央図書館、県立美術館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップ、ふじのくに地球環境史ミュージアム)が連携し、「ムセイオン静岡」として、文化を創造・発信し、文化振興やまちづくりに貢献する自主協働の活動を進めています。

授業は、この協働のもと、美術館などの施設見学、各施設の専門家をゲスト講師に招いた講義などを通じて、国際社会で活躍する上でも重要となる文化的教養を身に付けることを目的としています。

地域の資源を知り、地域で活用するひとつの方法を学ぶことができます。

「ムセイオン」古代エジプトのアレクサンドリアに興った世界初の学問・教育・文化・芸術の総合施設で「ミュージアム」の語源と言われる。

## Step 2 地域に出よう



大学における地域住民とのワークショップ



地域における高校生とのワークショップ



茶畑で地元農家とのワークショップ



研究成果をもとにした自治体への政策提言



自治体の課題解決に向けた研究発表



地域住民を対象とした健康増進の啓発事業

## Step 3 表彰・称号にチャレンジしよう

### ●地域みらい研究賞の授与

学生のみなさんが年間を通じて取り組んだ地域志向研究／地域貢献プロジェクトの成果を発表する場を用意しています。優れた発表には「地域みらい研究賞」を授与しています。



研究発表の様子



地域みらい研究賞の授与

### ●コミュニティフェローの称号を授与

しずおか学科目群の成績や地域での活動の実績から、地域課題の解決のために、地域住民とともに、世代・分野・職種を越えた「チーム活動」を牽引できる力を備えていると認められた学生には、「コミュニティフェロー」の称号を授与します。

将来にわたって、地域でのリーダーとして活躍してもらうことを期待しています。

「ふじのくに」みらい共生センター（COCセンター）

草薙キャンパス 看護学部棟4階（13405室）

電話：054-264-5441 メール：shizuoka-coc@u-shizuoka-ken.ac.jp



COCORO  
COC UNIVERSITY OF SHIZUOKA